

認知症を予防しよう！ 黒潮町でがんばろう

「認知症を予防しよう！〜黒潮町でがんばろう〜」と題した認知症に関する講演会が7月8日(土)、黒潮町総合センターで、島根大学医学部精神医学講座教授の堀口淳先生を講師に行われました。

堀口先生は現在、佐賀診療所で月2回来診療を行っている、認知症の症状を改善する予防対策などをテレビ番組や新聞などでも紹介しています。

認知症にならない為には、便秘に気をつけ、ビタミン・たんぱく質をバランスよく摂取し、アルコールは控えること、また、運動は唯一認知症予防の効果が医学的に認められているとのこと、一日6000歩のウォーキングと適度なストレッチを行い、認知症を予防しましょうと呼びかけました。



講師の堀口淳先生



熱心に聞き入る来場者

稚魚放流

未来に豊かな海を残そうと、環境資源の保護活動を目的に7月12日(水)、入野漁港・佐賀漁港で稚魚の放流が行われました。

町内の小学生らは、高知大学理学海洋生物研究所の遠藤広光先生に魚の話聞いたあと、体長5センチ前後のグレやチヌの稚魚約6000匹を漁港に放流しました。

主催の株式会社シーフロアコントロールの代表 弘田一博さん(46歳)は「年々魚が減っているのを感じる。子どもたちにも環境に対する関心を持ってもらえれば。これから活動も続けていきたい」と話していました。



浮津海水浴場・ 入野海水浴場海開き

7月9日(日)に浮津海水浴場、7月16日(日)に入野の浜で海開きが行われ、晴天のなか海を楽しみ多くの家族連れでにぎわいました。

海開きは浮津・入野海水浴場ともに、海の安全を願う神事が行われ、その後は恒例の「宝うばい・宝探し」が行われました。

宝探しでは、砂浜に隠された木の札を探して、おすしや焼きそば、ジュース、おもちゃなどの景品と交換をしました。

合図とともに一斉に砂浜に駆けつけた子どもたちは、次々と宝を探し出して景品交換場所に急いでいました。



海の安全祈願

町内から参加した30代の女性は、「宝うばいでは子どもがおかしを貰えて、海も丁度いい温度で気持ちがいい」と待ちに待った海開きを楽しんだ様子でした。

【浮津・入野海水浴場】

・設備 トイレ・更衣室(無料)

シャワー

浮津海水浴場(無料)

入野海水浴場(100円)

・遊泳時間 午前9時〜午後5時

・遊泳期間 8月31日(木)まで



○お問い合わせ

商工観光係

☎ 43-2113